

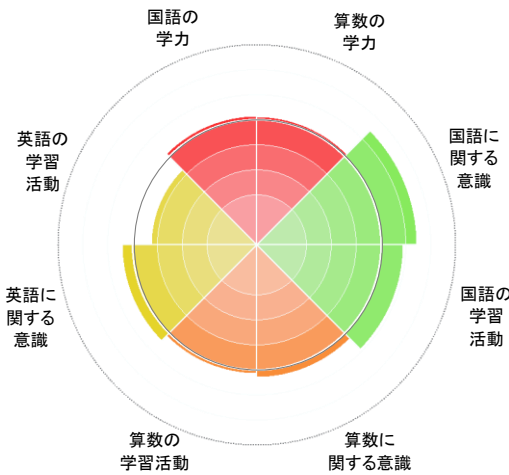
○ 教科に関する調査の状況

【結果チャート】

・教科等対応一覧表の領域別に全国を100とした場合の状況を結果チャートで示したもの

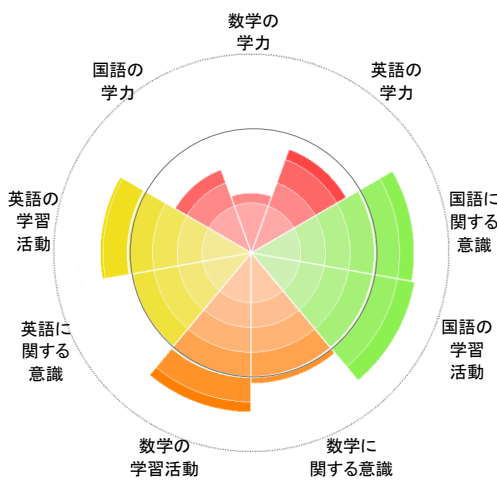
小学校

〔教科を中心とした学力・学習状況〕
(全国基準)



中学校

〔教科を中心とした学力・学習状況〕
(全国基準)



【平均正答率・平均IRTスコア】

※中学校英語は4技能(聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと)の平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
上砂川町	61	57	53	30	475
北海道(公立)	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国(公立)	60.9	56.4	63.9	57.0	499

＜令和8年度教科を中心とした学力・学習状況の領域名と児童・生徒質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	児童質問対応領域・質問番号
1	国語の学力	
2	算数の学力	
3	国語に関する意識	(52)(53)(55)
4	国語の学習活動	(54)(56)～(59)
5	算数に関する意識	(60)(61)(63)(64)
6	算数の学習活動	(62)(65)～(67)
7	英語に関する意識	(69)～(71)
8	英語の学習活動	(72)(73)

※領域番号1～2については、各教科の全国平均正答率を基準として比較したものである。
※領域番号3～8については、「小学校児童質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

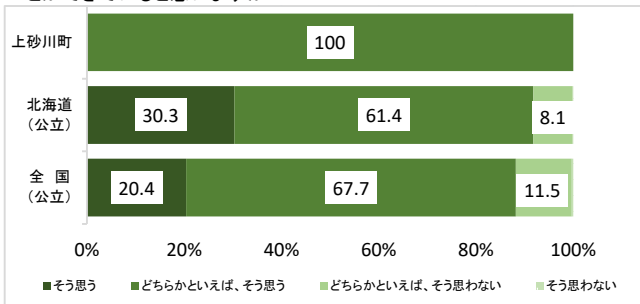
領域番号	領域名	生徒質問対応領域・質問番号
1	国語の学力	
2	数学の学力	
3	英語の学力	
4	国語に関する意識	(52)(53)(55)
5	国語の学習活動	(54)(56)～(59)
6	数学に関する意識	(60)(61)(63)(64)
7	数学の学習活動	(62)(65)～(67)
8	英語に関する意識	(69)(70)(72)(73)
9	英語の学習活動	(71)(74)～(76)(78)～(80)

※領域番号1～2については、各教科の全国平均正答率を、領域番号3については全国平均IRTスコアを基準として比較したものである。
※領域番号4～9については、「中学校生徒質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

○ 質問調査の状況

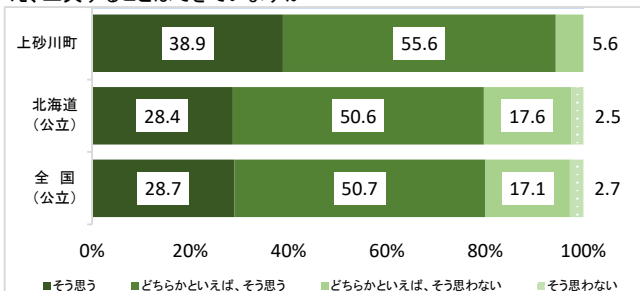
小学校 ＜学校質問＞

児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか



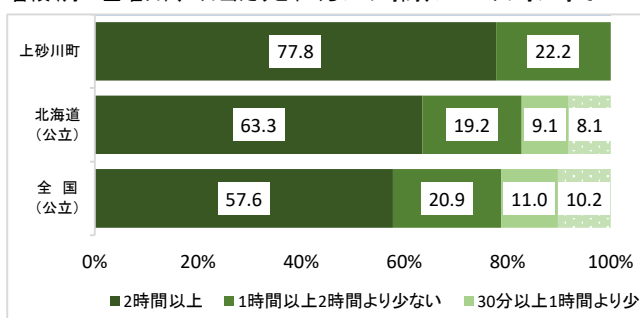
小学校 ＜児童質問＞

分からないことやよく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



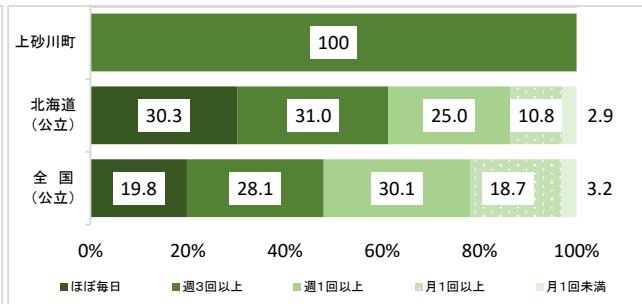
小学校 ＜児童生徒質問＞

普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォン等でSNSや動画視聴などをしますか



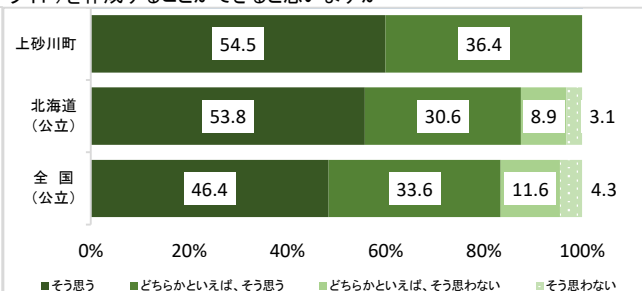
中学校 ＜学校質問＞

生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

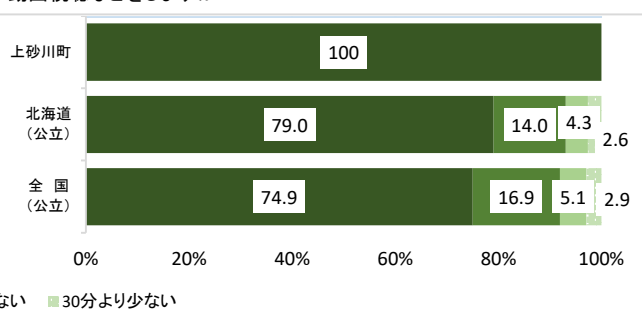


中学校 ＜生徒質問＞

PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか



中学校



○ 調査結果の分析

- ・ 小学校では、児童が課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる授業を積み重ねてきたことにより、児童が自分で学び方を考え、工夫するなど、主体性を発揮して学ぶ場面の充実が図られるとともに、国語及び算数の学力が全国及び全道を上回る結果となったと考えられる。

- ・ 中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用させたことにより、PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思うと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

- ・ 小中学校共に、「普段（月～金曜日）、1日当たり2時間以上SNSや動画視聴する」と回答した児童生徒の割合が全国及び全道を上回っており、生活習慣の乱れや睡眠時間の不足、健康被害の恐れなどの悪影響が懸念され、家庭生活を含めた基本的生活習慣の定着が課題である。

○ 今後の改善方針

- ・ 児童生徒の理解度に応じた指導の工夫や、ICTの効果的な活用など、児童生徒一人一人の資質・能力を確実に育成する取組の推進
- ・ タブレット端末の活用による教材ソフトやアプリを利用した家庭学習の習慣化や家庭との連携の強化
- ・ 外国語教育の充実に向け、教科担任の活用やALTとの学習形態の工夫など、専門性を生かした学習の保障